

■コメント

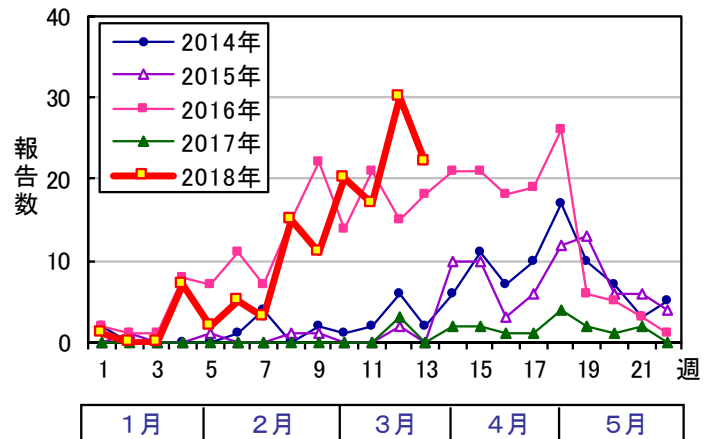
1. 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は基幹定点から22人の報告があり、多い状況が続いています。また、市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、第13週は24人報告されています。

ロタウイルスは、乳幼児に急性胃腸炎を引き起こす主要な原因で、2～4日の潜伏期間の後、下痢・嘔吐・発熱などの症状が出現し、ノロウイルスに比べると症状が少し重い傾向にあるといわれています。

例年、3月から5月頃にかけて報告数が多くなる傾向にありますので、保育園などの集団生活の場合は、特に注意が必要です。オムツや吐物の適切な処理、手洗いを徹底するなど、感染予防対策を心がけましょう。

基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	95	2.57	5.41	△	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.74	
	咽頭結膜熱	4	0.17	0.31		小児科	RSウイルス感染症	12	0.50	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	1.93	△	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	202	8.42	8.06	△	眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.40	
	水痘	5	0.21	0.58		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.25		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.16		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	6	0.25	0.29		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.02		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	22	3.67		△

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	9	42	女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(30歳代)・1人、女性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、男性(90歳代)・1人
5	アメーバ赤痢	1	3	男性(40歳代)
5	梅毒	1	26	男性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第9週	557	4	84	253	4	2	1	8	1	1	12	-	7	-	-	-	-	11
		第10週	359	2	76	281	3	2	-	7	-	1	6	1	2	-	-	-	-	20
		第11週	281	3	60	329	5	2	-	7	1	2	17	1	1	-	-	-	-	17
		第12週	158	8	54	219	4	2	-	8	-	3	14	-	3	-	-	-	-	30
		第13週	95	4	48	202	5	2	-	6	4	2	12	-	4	-	-	-	-	22
定点当 たり	広島市	第9週	15.05	0.17	3.50	10.54	0.17	0.08	0.04	0.33	0.04	0.04	0.50	-	0.88	-	-	-	-	1.57
		第10週	9.70	0.08	3.17	11.71	0.13	0.08	-	0.29	-	0.04	0.25	0.13	0.25	-	-	-	-	2.86
		第11週	7.59	0.13	2.50	13.71	0.21	0.08	-	0.29	0.04	0.08	0.71	0.13	0.13	-	-	-	-	2.43
		第12週	4.27	0.33	2.25	9.13	0.17	0.08	-	0.33	-	0.13	0.58	-	0.38	-	-	-	-	4.29
		第13週	2.57	0.17	2.00	8.42	0.21	0.08	-	0.25	0.17	0.08	0.50	-	0.50	-	-	-	-	3.67
	全国	第11週	8.65	0.30	2.69	5.01	0.24	0.15	0.06	0.36	0.01	0.14	0.44	0.02	0.54	0.01	0.03	0.20	0.01	0.41
		第12週	5.35	0.26	2.27	4.43	0.30	0.13	0.06	0.37	0.01	0.12	0.38	0.01	0.53	0.01	0.01	0.12	0.01	0.43

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

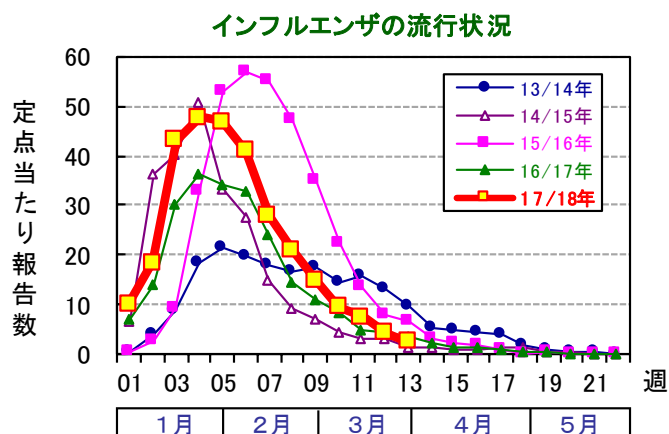
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.3) 鼻炎	4	男	2018/02/20	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型 ライノウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	1	男	2018/02/12	糞便	ノロウイルスG2
ヘルパンギーナ	発熱(39.4) 鼻炎	1	男	2018/02/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜浮腫 偽膜形成	79	女	2018/01/26	結膜擦過物	アデノウイルス85型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼瞼腫脹	84	男	2018/01/29	結膜擦過物	アデノウイルス85型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂 眼痛	13	男	2018/02/15	結膜擦過物	アデノウイルス85型
その他の消化器疾患	嘔気 下痢	1	女	2018/02/20	糞便	ノロウイルスG2
その他の消化器疾患	胃腸炎 腹痛	2	女	2018/02/23	糞便	アデノウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行状況



定点当たり2.57人の報告があり、前週と比べて減少しました。

例年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向がみられるため、引き続き、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策を心がけましょう。

なお、第13週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が25人、B型陽性が11人報告されています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第13週(3月26日～4月1日)